

## ランプを正しく安全にご使用いただくために

### 安全上の注意



#### 警告



- ランプの取り付け、取り外しのときは、必ず電源を切ってください。火災や感電の原因となります。

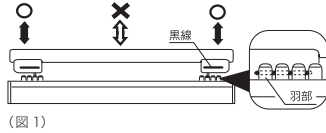


- 点灯中の紫外線ランプは絶対に直接または間接に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。目に入る場合には、必ず保護メガネをかけてください。



#### 注意

- 落としたり、ものをぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損した場合、ガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 適合した安定器、器具、ソケットを必ず使用してください。安定器、器具、ソケットの過熱、発煙の原因となることがあります。また、不点灯、短寿命、チラツキなどの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電や破損の原因になることがあります。（イーブズ用シームレスラインは軒下で使用できます）
- ランプ取付時は、ソケットおよびランプホルダーに確実に取り付けてください。ランプが落下破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となることがあります。また、接触不良により短寿命、過熱の原因となることがあります。
- シームレスラインランプ、シームレススリムランプは、ランプ両端の口金部分を持って着脱をおこなってください。破損した場合、ケガの原因となることがあります。（図1、2）
- シームレスラインランプ取付時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。（図1、3）
- 紙や布などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下破損によるケガやランプ短寿命の原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 退色を避けたい場合には、紫外線カットランプ（NU・P）を使用してください。
- ランプ口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 殺菌ランプ（GL）および BLB ランプは退色を避けたい場合には、使用しないでください。被照射物が紫外線により退色・劣化の原因となることがあります。
- 殺菌ランプ（GL）は（BLB ランプは長時間）皮膚に当てないでください。皮膚の炎症を起こす原因となることがあります。



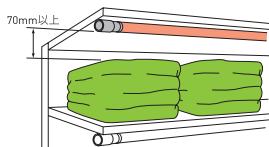
(図1)



(図2)

装填図	完全装填状態		不完全装填状態	
	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ装着状態				
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯

(図3)



### ご使用上の注意

- 周囲温度は5°C～40°Cの範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 電源電圧が低い場合（定格入力電圧の94%より低い）はランプが点灯しなかったり、短寿命の原因となることがあります。
- 人感センサーなどのスイッチで点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。（エースラインランプで調光用または点滅用安定器との組み合わせで使用してください。）
- 初めて点灯したとき、電極付近が黒くなるがありますが、しばらく点灯しておくと消えます。
- エースラインランプ（FLR）には近接導体のアルミテープがついています。キズをつけたり、はがしたりしないでください。チラツキや不点灯の原因となることがあります。
- 強い風が当たる場所は避けてください。風のアたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- 寿命末期のランプを長期間通電するとフィラメント付近が高温となるため、周囲の造営材へ熱影響を及ぼす原因となります。不点灯またはランプ端部が著しく黒化した寿命末期のランプは早めに交換してください。（コールドケースランプは、ジャケットごと交換してください）
- ランプには点灯に必要な金属粒が封入してあります。ランプを振ると音がしますが異常ではありません。
- 電源波形の歪みや変動があるときは、ランプにチラツキが発生する場合があります。
- ランプは造営材から6mm以上離して取り付けてください。造営材への熱影響により発煙・発火の原因となることがあります。
- 電磁安定器との組み合わせにおいて、通気性の悪い周囲温度40°C付近で点灯中のランプを消灯させ再点灯した場合に正常に点灯しないことがあります。このような場合は、一度電源を切り、しばらくたってから電源を入れなおしてください。